

# ふきのとう

2009  
秋号  
No.028

この写真は、10月下旬に岩見ダムの上流に上って、三内川に沿って県道308号線を上って行った杉宮沢付近の溪流です。

県道308号線は、そのまま進むと阿仁比立内駅に出る山道だそうですが、ここらあたりになるとほとんど人が通らず、道の脇には"熊に注意"の立て看板があったりします。熊は冬眠の前で最後の食いだめにうろつき回っていたはずですが、本来であれば熊の住処にこちらがお邪魔しているわけで、熊に何をされてもしょうがないかななどと思ってしまいました。

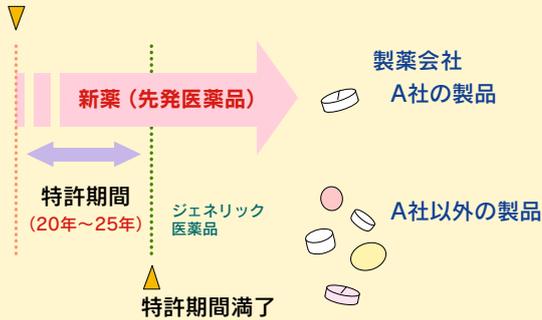
当日は曇りでしたが、運良くちょうど日が差してきたところで撮影できました。

写真・文／副院長 伊藤 誠司



# ジェネリック医薬品の特徴と 注意点について

## 新しい薬の開発



皆さんはテレビのコマーシャルなどでジェネリック医薬品という薬があることや、保険薬局で患者さんが希望すれば薬によってはジェネリック医薬品に変更ができることをご存知だと思います。国は増え続ける医療費抑制対策の一つとしてジェネリック医薬品の積極的な使用を推進しています。そこで、薬の話題としてジェネリック医薬品についてお話ししたいと思います。

## 新薬とジェネリック(GE)医薬品

医師から処方される薬には、新薬(先発医薬品)とGE医薬品(後発医薬品)の2種類があります。新しい成分の薬が誕生するまでには、長い年月と多額の費用がかかるため、新薬を開発した製薬会社には薬の成分や作り方などの特許が与えられ、独占的に製造・販売することが一定期間認められています。この特許権を持った製薬会社が販売している薬が新薬です。

新薬の特許期間が切れた後に、同じ有効成分で別の製薬会社が製造し、販売する薬がGE医薬品です。欧米では、これらの薬は商品名ではなく、薬の有効成分である一般名(generic name)で処方されることが多いことからGE医薬品と呼ばれています。GE医薬品は新薬に比べ開発費用が少ないため、安く販売することができます。



## ジェネリック(GE)医薬品に変更した時のメリット

GE医薬品は新薬の約2~7割程度の価格で発売されるため、薬代が安くなることがあります。そのため、GE医薬品を選択すれば薬代の節約になり、家計への負担を軽減することもできます。ただし、切り替え時期や短期間服用の薬の場合、支払う自己負担がほとんど変わらない場合もありますので、かかりつけの保険薬局でおたずねください。また、GE医薬品の中には新薬よりも小型化されたり、味が改良されてより服用しやすくなっている薬もあります。

## ジェネリック(GE)医薬品へ変更する時の注意点

GE医薬品に変更した際にはどの薬の代わりなのかを、しっかりと確認することが大切です。GE医薬品はいくつもの製薬会社が販売していることも多く、保険薬局ごとに薬の名前(商品名)、品揃えが違ふことがあります。また、有効成分は同じでも、添加物や製造方法が異なるため、新薬とGE医薬品は全く同じものではありません。色や形、味、使用感などにも違いがありますので、かかりつけの薬局で十分に説明を受けてからGE医薬品に変更するかどうかを選び、薬の記録・管理をしてもらいましょう。

すべての新薬がGE医薬品に変更できる訳ではありません。GE医薬品が販売されているのは新薬のうち約4割です。患者さんの症状や病状などにより新薬が適切だと医師が判断した場合は、GE医薬品に変更することはできません。



耳鼻咽喉科  
池上 謙次先生

# めまいについて

「めまいがする」という言葉をよく耳にしますが、そもそも「めまい」とは何なのでしょう。耳鼻咽喉科の池上謙次先生にお話を伺いました。

「めまい」という言葉は、非常にあいまいで、いろいろな状態を含んでいます。寝不足や疲労で体調がすぐれない、一瞬意識が遠のく、天井や部屋全体がグルグルと回転するなど、どれも「めまい」として表現されます。嘔吐や吐き気を伴うこともあります。このように幅の広い言葉ですから、病態も様々で、それにより治療や受診科も変わってきます。

- ①末梢性めまい：耳（内耳）には音を感じるだけでなく、体のバランスを保つ働きもあります。内耳の異常では主に回転性めまいが起こります。また、耳鳴りや難聴を伴うものもあります。一般的に耳鼻咽喉科が担当します。
- ②中枢性めまい：脳梗塞・脳出血、脳腫瘍などが原因です。頭痛や運動・感覚麻痺のような症状を伴うことも多く、比較的緊急を要します。CT・MRIといった画像検査が有用です。神経内科や脳神経外科の分野です。
- ③その他のめまい：血圧異常や心機能の低下、不安やストレスの蓄積、肩こりや首の骨の異常、低血糖や内分泌器官の異常、薬物中毒など原因は多様です。循環器内科、精神科、代謝内科などが担当します。

基礎疾患由来のものや中枢性めまいでは、その病気の治療が優先です。また、どのような種類のめまいでも、薬だけでなく「寝てなおす」のも非常に大事なことです。症状が落ち着いたなら、状態にあわせてリハビリを開始します。

めまいの治療や予防で最も大事なものは、「十分な休息をとる」ことだと私自身思います。

## めまいの検査

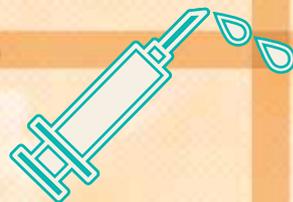


めまいの性質をみきわめるためにも、問診時に的確に状態を教えてください。それが重要です。

外来では目の動きをみるために眼振検査を行います。聴力の低下を伴うめまいは、聴力検査で種類の違う周波数を使ってどのくらいの音量で聞こえるかを調べます。重心動揺検査は、めまいを体のゆれとしてとらえ、客観的評価をすることでめまいの原因を推測するもので、計測器の上に目を開けた状態・閉じた状態で立っていただくだけです。

また、CT・MRIといった画像検査が必要になる場合もあります。

# インフルエンザ予防接種を 実施しています。



インフルエンザウイルスに感染すると、突然の高熱や頭痛、腰痛、筋肉痛、関節痛などの症状があらわれます。

インフルエンザ予防接種は、重症化防止に有

効とされています。接種後2週間程度で抵抗力がつき、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間と言われています。なるべく12月中には接種を終えることをおすすめします。

※新型インフルエンザの予防接種ではありませんので、ご注意ください。

なお、新型インフルエンザワクチン情報は、日々更新されています。秋田県のホームページ等でご確認ください。

<b>実施期間</b>	平成22年1月29日(金)までの毎週火・金曜日(ただし、12月25日～1月4日を除く)
<b>実施時間</b>	午後2時から(受付は午後1時から)
<b>場 所</b>	呼吸器内科(16歳未満は小児科外来へお問い合わせください。)
<b>人 数</b>	1日40名(予約制)
<b>予約受付</b>	月～金曜日の午前9時から午後4時まで、1階総合案内で受付します。 その際、予診票をお渡しします。※電話での受付は行いません。
<b>料 金</b>	3,150円(税込) 秋田市に住民票がある65歳以上の方は2,000円。生活保護受給者は無料。
<b>持参する物</b>	保険証または生保受給者証、身体障害者手帳(1～3級、お持ちの方)、予診票 ご不明な点は医事課へお問い合わせください。
<b>電 話</b>	018-823-4171

## 「肝臓教室」を開催しました。

9月15日(火)に当院講堂で第32回肝臓教室を開催しました。

C型肝炎に対する治療や、肝硬変患者の食事の注意点について、医師と管理栄養士がお話ししました。

今後も、肝疾患診療連携拠点病院として、肝疾患に関する様々な情報を提供してまいります。



## 緩和ケア教室開催のお知らせ

**開催日** 平成21年11月26日(木)  
**受付** 午後1時～  
**講義** 午後1時30分～2時30分  
**場所** 市立秋田総合病院 2階 講堂  
**対象** がん患者さんやそのご家族、緩和ケアに興味のある方  
**内容** 「気持ちのつらさについて」をテーマに、医師がお話しします。  
※参加費無料。  
※事前申し込み不要。直接会場へお越しください。



**問い合わせ先** 市立秋田総合病院 緩和ケアチーム  
電話 018-823-4171

## 市立秋田総合病院

### 理 念

●市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

### 基本方針

- 患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努めます。
- 良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。

編集・発行/市立秋田総合病院 平成21年10月31日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel(代表):018-823-4171 Fax:018-866-7026

E-mail: ro-homn@city.akita.akita.jp http://www.city.akita.akita.jp/city/ho/newho/default.htm